

平成25年度包括脳ネットワーク市民公開講座

心といのちを守る シンポジウムひろしま2013

入場無料

日時: 平成25年9/7(土)
13:00~16:45

会場: アステールプラザ
(広島市中区加古町4-17)



ヒトはうつになったら…
— うつところのしくみを知る —

●受付開始/12:00~ ●あいさつ/13:00~13:15

●講演I [13:15~14:20]

テーマ/ うつ病の基礎知識 [13:15~13:45]

講師/ 和田 健 氏 広島市立広島市民病院精神科
主任部長



和田 健氏

テーマ/ 脳からみたうつ病の治療 [13:50~14:20]

講師/ 岡本 泰昌 氏 広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医学 准教授
包括脳ネットワーク 広報委員



岡本 泰昌氏

●講演II [14:30~16:05]

テーマ/ こころのしくみをコンピューターで
理解する: ロボットはうつ病になるか? [14:30~15:10]

講師/ 銅谷 賢治 氏 沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 教授・副プロボースト
包括脳ネットワーク 将来計画委員・包括支援委員



銅谷 賢治氏

テーマ/ こころの脳内メカニズム [15:15~16:05]

講師/ 須原 哲也 氏 独立行政法人放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究プログラム プログラムリーダー



須原 哲也氏

●パネルディスカッション・質疑応答 [16:10~16:40]

テーマ/ うつ病の早期発見・早期治療に向けて

パネリスト/ 和田 健 氏、岡本 泰昌 氏、銅谷 賢治 氏、須原 哲也 氏

プログラム

■主催/ 広島市、包括型脳科学研究推進支援ネットワーク、 ■運営協力/ 広島いのちの電話
広島市教育委員会

■後援/ 広島県、広島県医師会、広島市医師会、広島県精神科病院協会、広島県精神神経科診療所協会、広島弁護士会、広島司法書士会、広島労働局、広島産業保健推進センター、広島商工会議所、広島県中小企業団体中央会、広島市社会福祉協議会、広島市民生委員児童委員協議会、広島県臨床心理士会、広島県看護協会、日本精神科看護技術協会広島県支部、広島県精神保健福祉士協会、広島いのちの電話、広島市精神保健福祉家族会連合会、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ふれあいチャンネル、ひろしまケーブルテレビ

※ このチラシは、再生紙を利用しています。

お申込方法等
詳しくは裏面を
ご覧ください。

わが国の平成24年の自殺者数は、平成9年以来15年ぶりに3万人を切りましたが、依然として高い水準で推移しています。広島市の自殺死亡率は全国平均よりも低い状況ですが、それでも、自殺で亡くなる方が15年連続で200人を超えています。

自殺を図った人の多くは、うつ病等の精神疾患にかかっているといわれており、うつ病の早期発見・早期治療は、心の健康を守ることはもちろん、自殺の予防にもつながります。

私たち一人一人がうつ病や自殺について正しく理解し、自分自身や身近な人の心の不調にいち早く気づいて適切な対応を行うことが、かけがえのないいのちを守るための第一歩です。

会場のご案内 アステールプラザ



JR広島駅からの交通手段

- 市内電車** 宇品行(紙屋町経由)「市役所前」下車(600m)、江波行「舟入町」下車(400m)
- バス** 広島バス 24番路線 吉島営業所行 または 吉島病院行「加古町」下車(200m)
- タクシー** 約15分 ※公共交通機関をご利用ください。

講師のプロフィール

広島市立広島市民病院精神科
主任部長

和田 健 氏

1990年、岡山大学医学部を卒業。香川県立中央病院神経内科、高見病院(現・希望ヶ丘ホスピタル)、岡山療養センター精神科、岡山大学病院精神神経科勤務の後、2000年より広島市立広島市民病院精神科に勤務。2011年より現職。

気分障害や器質性精神障害を中心に、薬物療法、心理療法に加えて、電気けいれん療法も行う。紹介による入院治療を積極的に受け入れて、退院後は再びかかりつけ医で外来治療を継続できるよう、地域医療機関との連携体制(オープンベッドシステム)を推進している。また、他科と連携して身体疾患による入院患者のメンタルケアを提供するコンサルテーション・リエゾン・サービスにも力を入れている。

日本精神神経学会、日本総合病院精神医学会、日本臨床精神神経薬理学会、日本神経学会の専門医及び指導医を務め、うつ病などの精神疾患の治療に第一線で取り組んでいる。

広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医学 准教授
包括脳ネットワーク 広報委員

岡本 泰昌 氏

1989年、大分医科大学(現・大分大学)医学部を卒業。広島大学医学部附属病院精神科神経科助手、同大学講師を経て、2012年より現職。

うつ病、躁うつ病を対象とした気分障害の専門外来を担当している。従来の診断に加えて補助的に画像検査を行い、脳機能の直接的な評価を試みるほか、EBM(根拠に基づいた医療)による国際標準的な薬物療法や認知行動療法など様々な精神療法を取り入れた治療を行っている。

包括脳ネットワークでは広報委員を務め、包括型脳研究の研究者と社会のパイプづくりに取り組む。また、広島市うつ病・自殺対策推進連絡調整会議委員、広島県地域保健対策協議会自殺(うつ病)対策医療連携専門委員会委員も兼務。市民・県民の心の健康対策に尽力している。

沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット 教授・副プロボースト
包括脳ネットワーク 将来計画委員・包括支援委員

銅谷 賢治 氏

1986年、東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同大学院博士(工学)を取得後、米国留学。帰国後、ATR脳情報研究所室長等を経て、2011年より現職。現在、奈良先端科学技術大学院大学客員教授、京都大学大学院情報科学研究科連携教授も兼ねる。

人間の心の生物学的基盤を理解するため、理論的・生物学的・工学的なアプローチを組み合わせて、行動の学習のための新たな理論とソフトウェア、高度な適応機能をもつロボット、さらに心の障害の理解、治療と予防のための新たなアプローチの開発を目指している。

包括脳ネットワークでは将来計画委員会のほか、文部科学省新学術領域研究「予測と意思決定」の代表として包括支援委員会の委員を務める。また、Neural Networks誌共同編集長、日本神経回路学会特任理事なども務め、脳科学研究の牽引役となっている。

独立行政法人放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
分子神経イメージング研究プログラム プログラムリーダー

須原 哲也 氏

1984年、東京慈恵会医科大学医学部を卒業。科学技術庁放射線医学総合研究所主任研究官を経て欧州留学。帰国後、独立行政法人放射線医学総合研究所特別上席研究員、同研究所グループリーダーを経て、2011年より現職。日本医科大学精神医学教室客員教授、東京慈恵会医科大学精神医学講座客員教授、東北大学大学院医学系研究科客員教授も兼ねる。

統合失調症やうつ病、認知症などの精神・神経疾患を対象に、その病態の理解および早期診断、さらに薬物などによる治療の評価法の開発を目指している。特にポジトロン断層装置(PET)による精神疾患の神経伝達機能研究では世界的リーダーの一人である。

うつ病・認知症コンソーシアム役員への就任、文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」うつ病等研究チームへの参画など、他研究機関とも連携しつつ、うつ病等の脳内メカニズムの解明に取り組んでいる。

申込方法

【FAXの場合】記入欄に必要事項をご記入のうえ、送付先FAX番号にお送りください。

【電話・Eメールの場合】申込希望の旨と申し込まれる方のお名前・電話番号・FAX番号を、広島いのちの電話事務局にお知らせください。※電話での申し込みの場合、月～金曜日(9:00～17:00)の受付となります。

※ 申込多数の場合、会場の都合により先着順となりますので、あらかじめご了承ください。
※ 特に連絡がない場合は、希望とおりご参加いただけます。
※ お預かりした個人情報は、このシンポジウムの連絡用のみ使用します。

参加申込書 送付先FAX082-221-6778

ふりがな

氏 名

電話番号

FAX番号

お申し込み・お問い合わせ／広島いのちの電話事務局

電話の場合
TEL082-221-3113

FAXの場合
FAX082-221-6778

Eメールの場合
hll@go2.enjoy.ne.jp